



整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 1 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

出願番号の番号体系

出願番号は番号体系により、以下の出願の種類を表現している。

( 1 ) 特許

~ 1 9 7 8 年

1. 000001 ~ 999999 : 国内・通常出願

1 9 7 9 年 ~ 1 9 8 7 年

1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願  
2. 500001 ~ 999999 : P C T 出願

1 9 8 8 年 ~ 1 9 9 0 年

1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願 ( 1990年のみ 400001 ~ 499999 電子出願 )  
2. 500001 ~ 699999 : P C T 出願  
3. 700001 ~ 799999 : 特許権存続期間延長出願  
4. 800001 ~ 999999 : 協定出願

1 9 9 1 年 ~

1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願 ( 電子出願 )  
2. 500001 ~ 699999 : P C T 出願 ( 2000年 ~ 電子出願 )  
3. 700001 ~ 799999 : 特許権存続期間延長出願  
4. 800001 ~ 999999 : 協定出願

( 2 ) 実用新案

~ 1 9 7 8 年

1. 000001 ~ 999999 : 国内・通常出願

1 9 7 9 年 ~ 1 9 8 7 年

1. 000001 ~ 599999 : 国内・通常出願  
2. 600001 ~ 999999 : P C T 出願

1 9 8 8 年 ~ 1 9 9 0 年

1. 000001 ~ 599999 : 国内・通常出願 ( 1990年のみ 400001 ~ 599999 電子出願 )  
2. 600001 ~ 999999 : P C T 出願

1 9 9 1 年 ~

1. 000001 ~ 599999 : 国内・通常出願 ( 電子出願 )  
2. 600001 ~ 999999 : P C T 出願 ( 2000年 ~ 電子出願 )

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 2 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	国際出願番号	タイプ& レンジス	C 1 2
------	--------	--------------	-------

データ形式	C 1 C 2	Y 1 Y 2 Y 3 Y 4	N 1 N 2 N 3 N 4 N 5 N 6
	C 2	C 4	C 6

内 容	C 1 C 2	: 受理官庁国コード	(コード表 C 0 0 5 0 参照)
	Y 1 Y 2 Y 3 Y 4	: 西暦年 4 桁	
	N 1 N 2 N 3 N 4 N 5 N 6	: 右詰前 0 の数字	

備 考	公報等の一般表記は以下である。
	P C T / C 1 C 2 Y 1 Y 2 Y 3 Y 4 / N 1 N 2 N 3 N 4 N 5 N 6



整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 6 0	VER	1 . 0		
項目名称	優先権主張番号		タイプ& レンジス	X 4 0 (最大)			
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>X 1 ~ X 4 0</td> </tr> <tr> <td>X 4 0</td> </tr> </table>					X 1 ~ X 4 0	X 4 0
X 1 ~ X 4 0							
X 4 0							
内 容	<hr/> 各国別に体系の異なる一連番号。 <hr/> <hr/> データは最大40桁で、有効桁数分のみで存在する。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>						
	備 考	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>					

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 7 0	VER	1 . 0														
項目名称	出願人・代理人コード		タイプ& レンジス	C n (n=2 or 3 or 4 or 9)															
データ形式	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C<sub>1</sub>C<sub>2</sub></td> <td>or</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C<sub>3</sub>N<sub>1</sub>N<sub>2</sub></td> <td>or</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C<sub>4</sub>N<sub>3</sub>N<sub>4</sub>N<sub>5</sub></td> <td>or</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">N<sub>6</sub> ~ N<sub>14</sub></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C 2</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C 3</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C 4</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C 9</td> </tr> </table>					C <sub>1</sub> C <sub>2</sub>	or	C <sub>3</sub> N <sub>1</sub> N <sub>2</sub>	or	C <sub>4</sub> N <sub>3</sub> N <sub>4</sub> N <sub>5</sub>	or	N <sub>6</sub> ~ N <sub>14</sub>	C 2		C 3		C 4		C 9
C <sub>1</sub> C <sub>2</sub>	or	C <sub>3</sub> N <sub>1</sub> N <sub>2</sub>	or	C <sub>4</sub> N <sub>3</sub> N <sub>4</sub> N <sub>5</sub>	or	N <sub>6</sub> ~ N <sub>14</sub>													
C 2		C 3		C 4		C 9													
内 容	<p>( 1 ) 桁数が 2 桁の時、出願国コード <span style="float: right;">(コード表 C 0 0 5 0 参照)</span></p> <p style="padding-left: 40px;">C<sub>1</sub>C<sub>2</sub> : 数字又は英字</p>																		
	<p>( 2 ) 桁数が 3 桁の時、特許庁・旧出願人コード</p> <p style="padding-left: 40px;">C<sub>3</sub> : 数字又は A</p> <p style="padding-left: 40px;">N<sub>1</sub>N<sub>2</sub> : 数字</p>																		
	<p>( 3 ) 桁数が 4 桁の時、特許庁・旧代理人コード</p> <p style="padding-left: 40px;">C<sub>4</sub> : 数字又は A ~ F 又は G</p> <p style="padding-left: 80px;">数字又は A ~ F : 弁理士の登録番号を示す</p> <p style="padding-left: 80px;">G : 特許業務法人の登録番号を示す</p> <p style="padding-left: 40px;">N<sub>3</sub>N<sub>4</sub>N<sub>5</sub> : 数字</p>																		
	<p>( 4 ) 桁数が上記以外の時</p> <p style="padding-left: 40px;">以下のものは申請人 ID コード <span style="float: right;">(コード表 B 0 1 9 0 参照)</span></p> <p style="padding-left: 40px;">・ 基本情報内、出願人代理人記事で電子出願のもの</p> <p style="padding-left: 40px;">上記以外のもは、前 0 を削除した有効桁数分が、旧出願人コード又は旧代理人コードとなる。</p>																		
備 考	<p>「出願国」コード入力の特許・実用新案のみで、1990年からデータが発生。</p>																		



整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 9 0	VER	2 . 0 ( 1 . 0 )
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	--------------------

登録の中間記録

登録の中間記録は大別すると、出願関係の記録、設定及び年金関係の記録、移転関係の記録及びその他の記録がある。

( 1 ) 出願関係の記録

特許査定書・登録査定書 ( A 0 1 )  
 出願却下処分書 ( A 0 4 5 )  
 誤送通知書 ( A 2 6 )  
 再送 ( A 2 8 )  
 官報 ( A 2 9 )

( 2 ) 設定及び年金関係の記録

中間コードの構成は、以下のとおりである。

R  X X X X X X

- 通番 ( 左詰・1 ~ 4 桁の数字 )
- 書類識別
  - 0 : 納付書
  - 1 : 補充書
  - 2 : 補足書
  - 4 : 設定用申請書・通知書 ( 減免猶予関係 )
  - 5 : 登録証・領収証・登録通知書・処分前通知・書換通知
  - 6 : 却下理由通知
  - 7 : 却下処分
  - 8 : 補充指令
  - 9 : 弁明書・上申書・雑書類
- 業務識別
  - 1 : 設定
  - 2 : 年金

( 3 ) 移転関係の記録

中間コードの構成は、以下のとおりである。

R  3 X X X X X

- 書類番号
- 四法種別  
または  
書類種別
- 書類ごとの番号
  - 1 : 特許
  - 2 : 実用新案
  - 5 : 移転済通知書
  - 6 : 却下理由通知・物件提出命令
  - 7 : 却下処分・取下
  - 8 : 補充指令
  - 9 : 補正書・弁明書・物件提出書・上申書・雑書類
  - D : 代理人変更届等
  - E : 印紙還付 ( 移転 )
- 業務識別
  - 3 : 移転

( 4 ) その他の記録

誤送通知 ( R 9 0  X  )  
 職権取消通知 ( R 9 1  X  )  
 無効通知 ( R 9 2  X  )  
 職権更正通知 ( R 9 3  X  )



整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 0 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	行服番号	タイプ& レンジス	C 7 又は C 9
------	------	--------------	------------

データ形式	<table border="1"> <tr> <td>N1</td> <td>Y1Y2</td> <td>N2N3N4N5</td> <td>N6N7</td> </tr> <tr> <td>C 1</td> <td>C 2</td> <td>C 4</td> <td>C 2</td> </tr> </table>				N1	Y1Y2	N2N3N4N5	N6N7	C 1	C 2	C 4	C 2
N1	Y1Y2	N2N3N4N5	N6N7									
C 1	C 2	C 4	C 2									

内 容	N1 : 元号コード 1 ; 明治
	2 ; 大正
	3 ; 昭和
	4 ; 平成
Y1Y2 : 和暦年 ( 右詰・前 0 )	
N2N3N4N5 : 一連番号 ( 4 桁・右詰・前 0 の年間通番 )	
N6N7 : 枝 番 ( 最初は不在で、後 0 1 ~ 9 9 が付される )	

備 考	枝番が存在しない場合には、左詰めの 7 桁構成となる。  <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 1 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	出訴番号	タイプ& レンジ	X 8
------	------	-------------	-----

データ形式	N1	Y1Y2	X	N2N3N4
	C 1	C 2	X 2	C 3

内 容	N1	: 元号コード	1 ; 明治
			2 ; 大正
			3 ; 昭和
			4 ; 平成
	Y1Y2	: 和暦年	( 右詰・前 0 )
	X	: 出訴区分	ウ ; 地裁
			コ ; 高裁
			ツ ; 最高裁
	N2N3N4	: 一連番号	( 3 桁、右詰・前 0 の年間通番 )

備 考	出訴区分は下記 2 バイト ( 表記は 1 6 進 ) の形態で提供される
	ウ : 8EB3
	コ : 8EBA
	ツ : 8EC2

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 5 0						VER	1 . 0		
項目名称	I P C						タイプ& レンジス	タグ省略時、 最大21桁構成				
データ形式	分類 識別	版 コード	左 記号	セクシ ョン	クラス	サブ クラス	メイン グループ	セパ レータ	サブ グループ	識別 記号	分冊 識別 記号	右 記号
	C 1	C 1	C 1	C 1	C 2	C 1	C 3	C 1	C 5	C 3	C 1	C 1

内 容	分類識別	: 英字又は記号	(コード表 C 0 1 3 0 参照)
	版コード	: 数字	(コード表 C 0 1 2 0 参照)
	左記号	: (	
	セクション	: A ~ H	(英字)
	クラス	: 0 1 ~ 9 9	(数字)
	サブクラス	: A ~ Z	(英字)
	メイングループ	: 1 ~ 9 9 9	(右詰め、最大3桁の数字)
	セパレータ	: / 又は :	
	サブグループ	: 0 0 ~ 9 9 9 9 9	(左詰め、最大5桁の数字)
	識別記号	: 0 0 0 ~ 9 9 9 (数字...展開記号)	(コード表 C 0 1 4 0 参照)
		: A A A ~ Z Z Z (英字...ファセット)	
	分冊識別記号	: A ~ Z (英字...分冊識別記号)	(コード表 C 0 1 5 0 参照)
		: 0、*、!	(配布マーク)
右記号	: , 又は ) 又は /		

備 考	右記号の'/'は発明情報と付加情報等との区切りを意味するが、I P Cの表記法とは異なっている点に注意のこと。
	I P Cの表記法では'///'である。





整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 9 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

申請人IDコードの説明

項番	申請人区分 (1桁)	登録年 (2桁)	シーケンス 番号 (5桁)	チェック デジット (1桁)	付与方法	内容
1	0	00	10001 ~		初期登録時の番号管理 テーブル	J A P I Oからの移行分 初期登録時に移行
2			0Zxxx		xxxは出願人コードを 割当てる。 但し、先頭1桁が A の場合Zは1、xの先頭1 桁は0となる。 上記以外Zは0となる	A B Cテーブルからの移行分 初期登録時に移行
3	1	00	xxxxx		xxxxxに代理人コー ドを割当てる	弁理士専用 初期登録時の移行 + *電子出願開始 後の付与請求書を含む
4		10	00001 ~		番号管理テーブル	特許業務法人専用 2001年弁理士法改正後の付与請 求、職権登録により登録
5	2	10	0xxxx		xxxxに代理人コード を割当てる	企業代理人専用 初期登録時に代理人資格が0（一般 人）のものを移行
6		20	10001 ~		番号管理テーブル	*電子出願開始後の指定代理人専用 職権登録、付与請求書により登録
7			0xxxx		xxxxに指定代理人 コードを割当てる	*電子出願開始後の指定代理人専用 初期登録時に移行
8		30	10001 ~		番号管理テーブル	*電子出願開始後の弁護士専用 職権登録、付与請求書により登録
9			0xxxx		xxxxに弁護士コード を割当てる	*電子出願開始後の弁護士専用 初期登録時に移行
10		40	00001 ~		番号管理テーブル	弁護士法人専用 2002年4月弁護士法改正後の付 与請求、職権登録により登録（但 し、予定）
11	3~4	YY	00001 ~		番号管理テーブル YYは西暦年下2桁	付与請求書による登録
12	5~7	YY	00001 ~		番号管理テーブル YYは西暦年下2桁	職権による登録
13	8	YY	00001 ~		番号管理テーブル YYは西暦年下2桁	大学等における技術に関する経営研 究成果の民間事業者への移転の促進 に関する法律に基づき事業計画書が 承認・認定された技術移転事業者専 用（付与請求による登録）
14	9	ZZ	00001 ~		番号管理テーブル ZZは都道府県コード	即日出願用 発明協会支部端末からの出願（即日 出願用）、その他

\*電子出願：コードINDEX B 0 0 1 0参照のこと

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 6 0	VER	1 . 0												
項目名称	代表文献番号、文献番号		タイプ& レンジ	C 1 2													
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>C<sub>1</sub>C<sub>2</sub></td> <td>C<sub>3</sub></td> <td>N<sub>1</sub></td> <td>Y<sub>1</sub>Y<sub>2</sub></td> <td colspan="2">N<sub>2</sub>C<sub>4</sub>N<sub>3</sub>N<sub>4</sub>N<sub>5</sub>N<sub>6</sub></td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 1</td> <td>C 1</td> <td>C 2</td> <td colspan="2">C 6</td> </tr> </table>					C <sub>1</sub> C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	N <sub>1</sub>	Y <sub>1</sub> Y <sub>2</sub>	N <sub>2</sub> C <sub>4</sub> N <sub>3</sub> N <sub>4</sub> N <sub>5</sub> N <sub>6</sub>		C 2	C 1	C 1	C 2	C 6	
C <sub>1</sub> C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	N <sub>1</sub>	Y <sub>1</sub> Y <sub>2</sub>	N <sub>2</sub> C <sub>4</sub> N <sub>3</sub> N <sub>4</sub> N <sub>5</sub> N <sub>6</sub>													
C 2	C 1	C 1	C 2	C 6													

内 容	C <sub>1</sub> C <sub>2</sub> : 国コード ( J P 固定 )
	C <sub>3</sub> : 文献種別 A ; 特許 ( 公開、公表、再公表 ) B ; 特許 ( 公告、登録 ) U ; 実用新案 ( 公開、公表、再公表、登録実用新案 ) Y ; 実用新案 ( 公告、登録 ) C ; 特許 ( 明細書 ) Z ; 実用新案 ( 明細書 )
	N <sub>1</sub> : 元号コード 1 ; 明治 2 ; 大正 3 ; 昭和 4 ; 平成 0 ; ( 登録番号の時、及び、文献種別が C 、 Z の時 )
	Y <sub>1</sub> Y <sub>2</sub> : 和暦年 ( 右詰・前 0 ) 又は 0 0
	N <sub>2</sub> C <sub>4</sub> N <sub>3</sub> N <sub>4</sub> N <sub>5</sub> N <sub>6</sub> : 一連番号 ( 6 桁・右詰・前 0 の通番 ) N <sub>2</sub> 、N <sub>3</sub> ~N <sub>6</sub> : 数字 ( 0 ~ 9 ) C <sub>4</sub> : 数字 ( 0 ~ 9 ) 又は英字 ( A ~ Z )

備 考	<p>・代表文献番号は通常、公開番号であり公開番号がない場合、公告番号が記録されている。 上記、両番号共にマスタ上保持していないときは、登録番号の場合もある。この場合、登録番号は和暦年 ( Y<sub>1</sub>Y<sub>2</sub> )、一連番号 ( N<sub>2</sub>C<sub>4</sub>N<sub>3</sub>N<sub>4</sub>N<sub>5</sub>N<sub>6</sub> ) にまたがって記録される。 ( 代表文献番号が公開番号である場合は、文献番号は公告番号となる )</p>
	<p>・代表文献番号が再公表番号の場合に、代表文献番号の一連番号の先頭 2 桁目 ( C<sub>4</sub> ) が英字で記録されている場合がある。その場合の英字は「 A 1 0 」 ~ 「 Z 3 5 」を意味する。</p> <p>具体例 8 <u>A</u> 0 0 0 1      8 <u>1 0</u> 0 0 0 1 8 <u>F</u> 0 0 1 0      8 <u>1 5</u> 0 0 1 0</p>





整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 8 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	引用文献番号 (国内特許文献)	タイプ& レンジス	C 1 3
------	-----------------	--------------	-------

データ形式	<table border="1"> <tr> <td>J P</td> <td>文献種別</td> <td>元号年</td> <td>一連番号</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 3</td> <td>C 6</td> </tr> </table>				J P	文献種別	元号年	一連番号	C 2	C 2	C 3	C 6		
	J P	文献種別	元号年	一連番号										
	C 2	C 2	C 3	C 6										
	又は													
	<table border="1"> <tr> <td>J P</td> <td>A 1</td> <td>0</td> <td>西暦年下2桁</td> <td>一連番号</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 1</td> <td>C 2</td> <td>C 6</td> </tr> </table>				J P	A 1	0	西暦年下2桁	一連番号	C 2	C 2	C 1	C 2	C 6
	J P	A 1	0	西暦年下2桁	一連番号									
	C 2	C 2	C 1	C 2	C 6									
	又は													
	<table border="1"> <tr> <td>J P</td> <td>文献種別</td> <td>0 0</td> <td>一連番号</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 7</td> </tr> </table>				J P	文献種別	0 0	一連番号	C 2	C 2	C 2	C 7		
	J P	文献種別	0 0	一連番号										
C 2	C 2	C 2	C 7											

内 容	文献種別	: 1桁目 : 英数字
		2桁目 : 数字 又は 空白
	元号年	: 元号コード + 和暦年
	元号コード	: 数字1桁 1 ; 明治
		2 ; 大正
		3 ; 昭和
		4 ; 平成
	和暦年	: 数字2桁 (右詰・前0)
	西暦年下2桁	: 数字2桁 (右詰・前0)
	一連番号	: 数字6桁又は7桁 (右詰・前0の通番)

備 考	【参考情報】 (文献種別 ; 文献名 例)			
	1 ; 特許出願	J P 1 4 1 3 0 0 0 0 0 1	2 ; 実用新案出願	J P 2 4 1 3 0 0 0 0 0 1
	A ; 特許公開	J P A 4 1 3 0 0 0 0 0 1	U ; 実用新案公開	J P U 4 1 3 0 0 0 0 0 1
	A ; 特許公表	J P A 4 1 3 5 0 0 0 0 1	U 1 ; 実用新案全文	J P U 1 4 1 3 0 0 0 0 0 1
	A 1 ; 特許再公表	J P A 1 0 0 1 0 0 0 0 0 1	U ; 実用新案公表	J P U 4 1 3 5 0 0 0 0 1
	B ; 特許公告	J P B 4 1 3 0 0 0 0 0 1	U ; 登録実用新案	J P U 0 0 0 0 0 0 0 0 1
	B ; 特許公報	J P B 0 0 0 0 0 0 0 0 1	Y ; 実用新案公告	J P Y 4 1 3 0 0 0 0 0 1
	C ; 特許明細	J P C 0 0 0 0 0 0 0 0 1	Y ; 実用新案登録	J P Y 0 0 0 0 0 0 0 0 1
	S ; 意匠	J P S 0 0 0 0 0 0 0 0 1	Z ; 実用新案明細	J P Z 0 0 0 0 0 0 0 0 1

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 9 0	VER	1 . 0						
項目名称	引用文献番号 (外国特許文献)		タイプ& レンジス	C 1 3							
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>コード欄</td> <td>文献種別</td> <td>一連番号</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 9</td> </tr> </table>					コード欄	文献種別	一連番号	C 2	C 2	C 9
コード欄	文献種別	一連番号									
C 2	C 2	C 9									

内 容	コード欄	: 国コード	(コード表 C 0 0 5 0 参照)
	文献種別	: 1 桁目 : 英字	
		: 2 桁目 : 英数字 又は 空白	
	一連番号	: 数字 9 桁 (右詰・前 0 の通番)	

備 考	【参考情報】(例)	
	<u>E P A 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	<u>C H A 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>
	<u>E P B 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	<u>W O A 2 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>
	<u>U S A 2 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	<u>W O A 2 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	<u>U S B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	(国コード WO の場合の一連番号には 0 y y n n n n n n の形式が入力されている場合もある。y y : 西暦下 2 桁)
	<u>D E A 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	
	<u>D E B 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	
	<u>D E C 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	例は主要国であり、各国の文献番号形式に従って文献種別、及び、一連番号の値が設定される。
<u>D E U 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>		

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 3 0 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	引用文献番号（非特許文献）	タイプ& レンジ	C 1 3 又は C 1 6
------	---------------	-------------	----------------

データ形式	J P	文献種別	0	西暦年下 2 桁	一連番号
	C 2	C 2	C 1	C 2	C 6
	又は				
	C S	文献種別	西暦年	書籍番号	記事番号
	C 2	C 2	C 4	C 5	C 3

内 容	文献種別	: 英数字 2 桁
	西暦年下 2 桁	: 数字 2 桁（右詰・前 0）
	一連番号	: 数字 6 桁（右詰・前 0 の通番）
	西暦年	: 数字 4 桁（右詰）
	書籍番号	: 数字 5 桁（右詰・前 0）
	記事番号	: 数字 3 桁（右詰・前 0）

備 考	【参考情報】（文献種別；文献名 例）	
	N 1 ; 公開技報	<u>J P N 1 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 2 ; 抽出論文	<u>J P N 2 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 3 ; 異議申立	<u>J P N 3 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 4 ; 引用非特許	<u>J P N 4 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 5 ; N P L	<u>J P N 5 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N X ; Elsevier番号	<u>J P N X 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N x ; 非特許 C S D B	<u>C S N A 2 0 0 1 0 0 0 0 1 0 0 1</u>
	x ; 英字 1 桁	



整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 3 1 0	VER	1 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

種別に対する意味の見方

各要素間の分離  
種別の各要素を下記に従い分離する。

C<sub>1</sub>C<sub>2</sub>C<sub>3</sub>C<sub>4</sub>

- 0 0 0 C<sub>4</sub> ( C<sub>4</sub> = 0 の時は C<sub>4</sub> に対する分離は無いものとする )
  - 0 0 C<sub>3</sub> 0 ( C<sub>3</sub> = 0 の時は C<sub>3</sub> に対する分離は無いものとする )
  - 0 C<sub>2</sub> 0 0 ( C<sub>2</sub> = 0 の時は C<sub>2</sub> に対する分離は無いものとする )
  - C<sub>1</sub> 0 0 0 ( C<sub>1</sub> = 0 の時は C<sub>1</sub> に対する分離は無いものとする )
- 但し、種別が 0 0 0 0 の時は、そのまま 0 0 0 0 として扱う。

上記基準により分離されることにより 1 つの種別が複数の種別となり複数の意味を持つことになる。

1 つの要素内の分解

で分離された各種別の C<sub>n</sub> を各々下記基準に従い分解する。

0	0		8	8
1	1		9	1 , 8
2	2		A	2 , 8
3	1 , 2		B	1 , 2 , 8
4	4		C	4 , 8
5	1 , 4		D	1 , 4 , 8
6	2 , 4		E	2 , 4 , 8
7	1 , 2 , 4		F	1 , 2 , 4 , 8

上記基準により分解されることにより 1 つの要素が複数の要素となり複数の意味を持つことになる。

及び で分離、分解した各種別、各要素をコード記号として対応する意味をコード表より探す。

【具体例】

実用新案 出願種別 ( 0 0 0 0 ) の場合

- より「0 0 0 0」 「0 0 0 0」として扱う
- より「0 0 0 0」 「0 0 0 0」の 1 つの意味を持つ
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 0」 「通常」
- 出願種別 ( 0 0 0 0 ) は「通常」の意味を示していることとなる

特許 出願種別 ( 0 0 0 A ) の場合

- より「0 0 0 A」 「0 0 0 A」となる
- より「0 0 0 A」 「0 0 0 2」、「0 0 0 8」の 2 つの意味を持つ
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 2」 「併合」
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 8」 「変更」
- 出願種別 ( 0 0 0 A ) は「併合、変更」の意味を示していることとなる

特許 出願種別 ( 0 0 1 2 ) の場合

- より「0 0 1 2」 「0 0 0 2」、「0 0 1 0」に分離される
- より「0 0 0 2」 「0 0 0 2」の 1 つの意味を持つ
- より「0 0 1 0」 「0 0 1 0」の 1 つの意味を持つ
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 0 2」 「併合」
- (コード表 C 0 0 2 0) より「0 0 1 0」 「補正却下」
- 出願種別 ( 0 0 1 2 ) は「併合、補正却下」の意味を示していることとなる





